

にのへ 市議会だより

「秋のアートフェスタ」

10月12日にシビックセンターにて「秋の
アートフェスタ」が開催されました。あいにくの雨模様で、ステージイベントはホールで行われましたが、迫力の演奏や踊りに会場は
たいへん盛り上がっていました。

9月定例会

— CONTENTS —

| | |
|-------------|----|
| 意見交換会 | 2 |
| 正副議長・委員会の紹介 | 3 |
| 定例会及び決算の概要 | 4 |
| 決算特別委員会 | 6 |
| 主な議案 | 8 |
| 討論・活動報告 | 9 |
| 常任委員会での審議 | 10 |
| 審議結果・賛否の公表 | 11 |
| 一般質問 | 12 |
| クイズ、ご意見箱 | 17 |
| 声のひろば | 18 |



YouTubeでネット中継配信中



二戸市議会 ネット中継



特集

意見交換会レポート 『二戸について なんでも話そう！』

8月26日に、浄法寺総合支所にて、広聴部会主催の意見交換会～二戸についてなんでも話そう！～を開催しました。

市政前進のため市民の皆さまからの幅広いご意見を市政に反映することを目的として意見交換会を開催しました。

第1回は御返地・足沢地区の住民の方々を中心に御返地防災センターで、今回の第2回は、浄法寺地区を中心に浄法寺総合支所で開催しました。副議長から趣旨説明の後、3常任委員長からの議員の紹介、議員定数等調査検討特別委員会の活動報告を行い、約1時間、意見交換を行いました。

主な意見は、「人口減少対策を一点集中で取り組むべき」、「川の増水についての不安」、「町内会の勉強会

に議員を呼びたい」、「盛岡へ進学する要因の送迎困難の解消について」、「旧岡本小学校跡地はどうか」、「道路に段差があって直してもらいたい」、「浄法寺漆のPRなどその地域の問題提起や施策展開を求める」などが出され、大変有意義な意見交換会でありました。

今後とも市内各地で開催されますので、最寄りの会場で開催された際には足を運んでいただきますよう宜しくお願いいたします。

(10月開催の金田一地区、上斗米(根森)地区、11月開催の堀野地区での様子は次号に掲載予定です。)



なお、意見交換会の様子は、市議会YouTubeチャンネルで公開いたしますので、ぜひご覧ください。



8 月
臨時会

新正副議長の紹介

8月12日に令和7年8月臨時会が招集され、正副議長選挙をはじめ、一部事務組合等の選挙及び常任委員会の選任等を行いました。
選挙の結果、議長には田代 博之 議員、副議長には駒木 昇 議員が就任しました。



議長 田代 博之



副議長 駒木 昇



議会運営委員会



総務常任委員会



文教福祉常任委員会



産業建設常任委員会

常任委員会と議会運営委員会

| 委員会名 | 委員長 | 副委員長 | 委員 | |
|-----------|--------|-------|----------------|----------------|
| 総務常任委員会 | 戸来 守和 | 高村 人司 | 國分 敏彦 畠中 泰子 | 出堀 満則 田代 博之 |
| 文教福祉常任委員会 | 小田島 行伸 | 土佐野 淳 | 堀野 忠教 田川 晃 | 駒木 昇 田口 一男 |
| 産業建設常任委員会 | 岩崎 敬郎 | 柴田 清克 | 菅原 規正 新畑 鉄男 | 沼井 賢壮 内沢 真申 |

| | | | | |
|---------|-------|-------|----------------|----------------|
| 議会運営委員会 | 沼井 賢壮 | 高村 人司 | 戸来 守和 岩崎 敬郎 | 出堀 満則 田口 一男 |
|---------|-------|-------|----------------|----------------|

9月
定例会

令和6年度決算全8会計を認定

9月定例会は、9月4日から24日までの21日間開催され、本会議や委員会などで活発な議論が交わされました。審議の結果、市長から提出された令和6年度決算認定8件と、補正予算案等の議案11件を審査し、全て原案のとおり認定・可決しました。また、報告事項2件が行われたほか、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問2件を適任とし、議案2件を可決しました。

一般質問では9人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について市の見解を求めました。

決算の概要

令和6年度の一般会計と各特別会計の歳入歳出決算を総括すると、歳入決算総額は239億3134万円（前年度比0・46%増）、歳出決算総額は233億7240万円（前年度比1・70%増）となっています。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は5億5894万円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源9649万円を差し引いた実質収支は4億6245万円の黒字となっています。

また、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は2億5003万円の赤字、基金積立金や基金取崩額を勘案した実質単年度収支は、3億4643万円の赤字となっています。

会計別決算状況

| 区 分 | | | 歳 入 | 歳 出 | 差引額 |
|------------------|----------|--------|----------------|----------------|--------------|
| 一 般 会 計 | | | 189 億 4,096 万円 | 184 億 2,828 万円 | 5 億 1,268 万円 |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険 | 事業勘定 | 26 億 5,466 万円 | 26 億 5,265 万円 | 201 万円 |
| | | 診療施設勘定 | 2 億 4,026 万円 | 2 億 3,986 万円 | 40 万円 |
| | 土地区画整理事業 | | 17 億 1,055 万円 | 16 億 7,083 万円 | 3,972 万円 |
| | 介護サービス事業 | | 0 万円 | 0 万円 | 0 万円 |
| | 後期高齢者医療 | | 3 億 8,490 万円 | 3 億 8,078 万円 | 412 万円 |
| 計 | | | 239 億 3,134 万円 | 233 億 7,240 万円 | 5 億 5,894 万円 |

| 区 分 | | | 簡易水道事業会計 | 下水道事業会計 | 水道事業会計 |
|--------|-----------|--------------------|-----------|-----------|------------|
| 公営企業会計 | 収益的収支（税抜） | 総収益（水道料金、下水道使用料など） | 1億4,665万円 | 7億66万円 | 6億4,229万円 |
| | | 総費用（浄水場の維持管理費など） | 1億4,438万円 | 5億6,733万円 | 5億8,676万円 |
| | | 純利益 | 226万円 | 1億3,333万円 | 5,554万円 |
| | 資本的収支（税込） | 収入（企業債、国からの補助金など） | 1億2,493万円 | 5億3,612万円 | 3億2,976万円 |
| | | 支出（工事費、企業債償還金など） | 7,314万円 | 5億4,548万円 | 6億745万円 |
| | | 収支 | 5,179万円 | ▲936万円 | ▲2億7,770万円 |

※端数処理のため計が一致しない部分があります。

一般会計の 主な使い道

こんな事業に
使われました

民生費(高齢者、児童など 福祉にかかるもの)

57 億 1,067 万円

- ・物価高騰対応重点支援臨時
給付金事業 9,974 万円

総務費(情報管理、市バス運行、ま ちづくり、職員人件費など)

24 億 6,960 万円

- ・コンビニ交付システム導入事業
2,631 万円
- ・浄法寺文化交流センターリフレ
ッシュ事業 869 万円

土木費(道路や河川の整備・) 維持にかかるもの)

28 億 3,058 万円

- ・市民協働道路整備事業
3,257 万円
- ・公営住宅管理事業
1,847 万円

教育費(小中学校、学校給食、社会 教育事業などにかかるもの)

16 億 1,265 万円

- ・にのへチャレンジアート事業
51 万円

衛生費(予防接種、ごみ処理 などにかかるもの)

14 億 334 万円

- ・健康づくり推進事業
404 万円

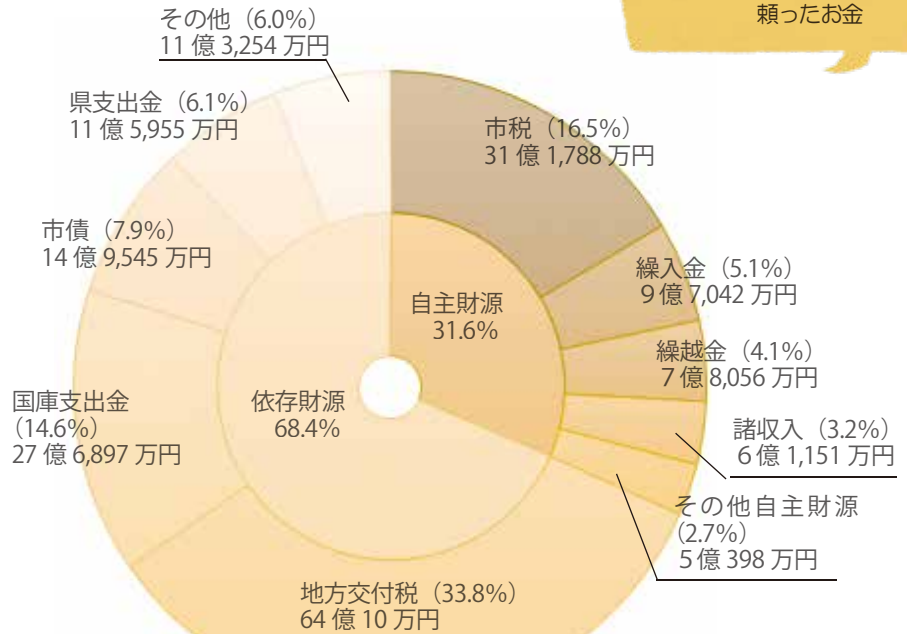
消防費(消防活動、消防施設整備 などにかかるもの)

10 億 1,650 万円

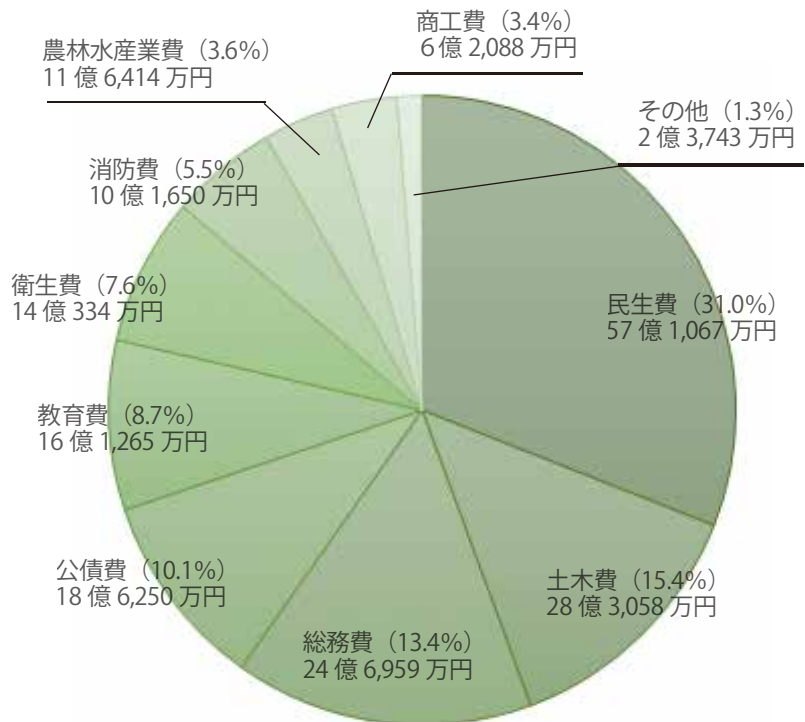
- ・非常備消防活動事業
7,854 万円
- ・御返地地区防災センター整備事
業 2億6,118 万円

一般会計決算内訳

自主財源…市で集めたお金
依存財源…国・県や市債に
頼ったお金



歳入 189 億 4,096 万円



※端数処理により計が
合致しません

歳出 184 億 2,828 万円

農林水産業費(農地整備、農家支援 などにかかるもの)

6 億 6,414 万円

- ・新規就農者育成対策支援事業
935 万円
- ・農産物鳥獣被害対策事業
294 万円

商工費(観光イベント、漆振興、 企業誘致などにかかるもの)

6 億 2,088 万円

- ・鍛冶工房整備事業
3,272 万円
- ・稲庭交流センター改修事業
3,216 万円

お金の使い道をチェック！

決算特別委員会

全議員で構成する決算特別委員会では、委員長に出堀満則議員が、副委員長に土佐野淳議員が選出されました。

決算特別委員会と所管の分科会において詳細にわたり審査をした後、最終日に各分科会の報告を受けて採決が行われました。

決算特別委員会において審議し採決した結果、令和6年度一般会計と4つの特別会計、水道事業会計の計8会計、全ての歳入歳出決算を「認定すべきもの」と決しました。



委員会での質疑

6年度決算全体

問 二戸市総合計画後期基本計画の最終年度の前年である令和6年度について、全体を通してどのような1年間だったと捉えているか。

答 令和6年度は後期基本計画の4年目であり、これまでの成果と課題を検証しつつ、総合計画の実現に向け取り組んできた。また、依然として続く物価高騰への対応にも国の臨時交付金等を活用しながら、市民生活や事業者支援に取り組んできた。

一般会計の歳入は国の定額減税に伴い市税が減収したものの、地方特例交付金による減収補填のほか、地方消費税交付金などの増により、歳入総額は前年度比4・36%増となった。一方で歳出は児童手当の拡充や物価高騰対策等の民生費の増のほか、簡易水道事業、下水道事業の企業会計移行に伴う出資金による土木費の増、御返地地区防災センターの整備による防災費の増などにより、歳出総額は前年度比6・1%の増となった。今後の運営については、これらを加味しながら、財政調整基金は災害時のために必要であるため、残しながら今後の事業を進

めていかなければならないと考えている。

滞納について

問 滞納整理について、令和6年度はどのように取り組んだのか。

答 実態調査や財産調査を行い、預金や給与を中心に差し押さえを行った。その取り組みの成果として、中期的に見ると減少傾向にあると捉えている。税外収入はそれぞれの所管課で徴収・催告を行い、分納をする案件も増え、前年度と比較して収入未済額が60万円ほど減少した。

討論

賛成

反対

令和6年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について

反対

田口 一男 議員

二戸市学校給食センターは、令和3年度以降も物価高騰により費用の上昇が続いており、給食費負担を学校給食法に基づき保護者から徴収してきた。一方で二戸市の出生率は減少しており、このような現状から少子化対策の一環として若者が住みやすい環境づくりを進めるべきである。学校給食費引上げ決算を含んだ今回の一般会計に反対して討論とする。

賛成

沼井 賢壮 議員

本決算において実質年度収支は赤字となっているが、市民の意見や行政の努力を踏まえ予算執行の適正性とプライマリバランスが確保されていることを評価する。漆関連の持続可能な未来志向の各事業の実施や、農商工業者への可能な支援により地域経済への配慮も行った。持続可能なまちづくりに向け堅実な財政運営が行われていると認識している。よりよい二戸市の未来を築くため、より一層の努力を期待し、賛成の意を表明する。

反対

畠中 泰子 議員

令和6年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
後期高齢者医療制度は医療費の増加が前提の医療制度であり、75歳以上の方々の保険料だけで賄うには限界がある。長年続いている物価高騰が高齢者の生活を圧迫している中で、年額の保険料上限額が大幅に引き上げられた。高齢者の生活を圧迫する後期高齢者医療制度は廃止を目指すべきであり、医療費への対策は本来国が財源で賄うべきことを改めて主張し、今回の決算認定に反対をする。

総務分科会

令和6年度
一般会計決算

【浄法寺総合支所地域支援課所管分】

問 寂聴記念館の来館者数が前年度よりも増加した理由は。

答 来館者数は、令和5年度は514人、令和6年度は815人であった。ピーク時の平成21年は約1万1000人の方に寂聴記念館を拝観していた。

問 寂聴記念館を拝観していた。コロナ禍に1000人を切るような状態が続いていたが、人流が戻りコロナ禍以前の入館者数に戻ってきたと考えている。

答 令和10年の天台寺開山1300年に向け、記念館を活用してもらうよう働きかけて行く。

【選挙管理委員会所管分】

問 投票率向上に取り組んだ内容は。

答 保健師による家庭訪問時の投票啓発、企業等への従業員の周知を行った。また、コミュニケーションバスの期日の周知、障害者の事

文教福祉分科会

令和6年度
一般会計決算

【浄法寺総合支所地域支援課所管分】

問 二戸市保健センターの勤務内容は。

答 社会福祉協議会の職員50人が勤務しており1階に事務所とデイサービスセンターが設置されている。入浴等のサービスを行っており、年間7000人の利用がある。

【健康福祉部所管分】

問 敬老会事業を申請する団体数は。

答 敬老会事業の支給団体数は、令和6年度は68団体である。

【教育委員会所管分】

問 異文化交流事業で研修事業の成果を市民にどのように伝えているのか。

答 派遣後、研修生は、成果の報告会を2月中旬に開催している。保護者は勿論一般の方にも参加していただけるよ

うな形としている。

令和6年度国民健康保険特別会計決算

問 人間ドック利用補助金は何人分の費用か。

答 国民健康保険に加入していて、かつ人間ドックを受けた方9人分の費用である。

令和6年度二戸市後期高齢者医療特別会計

問 繰入金の今後の推移について伺う。

答 繰入金については若干増加している傾向にある。今後、団塊世代から減少傾向になれば落ち着くと思われる。

産業建設分科会

【建設課所管分】

問 市道整備の進捗率は。

答 アクションプランにおける市道整備の進捗状況は、令和6年度までで、306.8キロメートルの計画に対し、307.8キロメートルの実績となっている。また、橋梁については、17橋の計画に対し、19橋の補修工事を終えている。

【区画整理事業】
問 上水道管移設負担金と上水道工事負担金の違いは。

答 水道管の新設と移設の違いによるものとなっている。上水道管の新設については、100%費用負担をしている。既設管の移設については、経過年数に応じて、消耗分を考慮した費用を負担している。なお、工事の実施については、水道事業所で実施している。

良工事については82%の実施となり、未執行分については、翌年度への繰越となっている。



令和5年度に行われたわんこそば世界大会



年間7,000人もの入浴サービス利用がある通称ほえみセンター



市道の現状視察

市道の現状視察

決算認定以外の 主な議案

条例

○二戸市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

可決

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律並びに岩手県の職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正に鑑み、所要の改正をしようとするもの。

○二戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

可決

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正及び岩手県の職員の育児休業等に関する条例の一部改正に鑑み、所要の改正をしようとするもの。

○二戸市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

可決

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正及び岩手県の職員の育児休業等に関する条例の一部改正に鑑み、所要の改正をしようとするもの。

○二戸市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

可決

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

補正予算

○令和7年度二戸市一般会計補正予算（第3号）

◆補正額

4億1653万円

【主な内容（歳出）】

・移住・定住推進事業費

可決

50万円

利用者の増に伴う補助金の増。

・物価高騰対策事業

・地域子育て支援センター事業委託料

・病後児保育事業委託料

92万円

国の交付要綱改定による委託料の増。

・食料品等物価高騰対策支援事業費補助金

245万円

食料品価格等の物価高騰の影響を鑑み、保育施設等には賄い材料費等の物

価高騰分を支援し、子育て世帯には給付金を支給するもの。

・学校給食実施事務費

793万円

食材費の物価高騰により賄い材料費を増額するもの。

・有害鳥獣被害対策費

71万円

法改正に伴い、隊員報酬などを増額するもの。

・道路維持管理補修事業費

1億4906万円

除雪委託料など、冬期間の除雪にかかる費用。

・市民協働除排雪支援事業費

224万円

町内会が行う除排雪などを支援するもの。

報告

○令和6年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率について

可決

◆要旨 健全化判断比率において、実質赤字は生じておらず、実質公債費比率、将来負担比率も早期健全化基準を下回っているため、良好な状態である。また、経営健全化資金不足比率において、資金不足は生じておら

ず、良好な状態である。

議員発議

○教職員定数の改善及び教育予算の拡充に係る意見書

可決

平成18年の「三位一体改革」で義務教育費国庫負担率が引き上げられたことにより、自治体の財政状況による教育格差が生じていることから、国の施策として教職員定数改善に向けた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでも一定水準の教育を受けられるよう、学びの保障と整備をすることを国に求めるもの。

○最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者の負担を軽減する国の支援を求める意見書

可決

国に対し、最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者の負担を軽減する国の支援を強く求めるもの。



本会議での質疑

二戸市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

問 課題と今後の対応は。

答 これまでも職員の心身の状況や出産に対応した様々な制度について相談に対応してきた。制度としてきちんとして整備されているため、必要な方にはしっかりと取得して欲しいと考えている。今後も対象となる職員が取得できるように環境を作っていくよう努める。

一般会計補正予算（第3号）

問 9月1日から一定の条件下で緊急銃猟が可能となったが、本格的に二戸市の体制が整うのはいつ頃か。また、万が一事故が発生した場合の補償は。

答 新しい制度であるためマニュアルを作成し、ハンターの方々から意見をいただき、問題をクリアしていきながら体制を整えたい。時期については、訓練等を行いながら、警察等関係機関と連携し対応したい。不安視している意見への対応や、今後の体制についての問題解決のため、実施隊の隊長等と話し合いを設けていきたい。

万が一に備えた保険加入のための予算を今回の補正予算に計上している。あらゆることが想定できるが、それについても今後検討していく。

討論

賛成

反対

教職員定数の改善及び教育予算の拡充に関する意見書

反対

田川 晃 議員

意見書に示された学級編制基準の一律引下げ、教職員定数の大幅増員等の方向性については理解するが、問題は教員の成り手不足であり、単に定数を増やすだけでは解決につながらない。加配定数の確保については、既に令和3年の法改正で必要な加配定数は削減しないとの附帯決議が国でなされており、一定の保障は担保されている。必要なのは数値的な一律拡大ではなく、地域ごとの実情を踏まえた柔軟で現実的な施策である。その観点から本意見書には賛成できない。

最低賃金引上げに伴う中小企業・小規模事業者の負担を軽減する国の支援を求める意見書

反対

田川 晃 議員

国は既に取引適正化に向けた具体策を打ち出している。既に多様な補助金や税制優遇措置も用意されており、追加的な直接支援は二重施策となりがねない。重要なのは、既存の制度を中小企業や小規模事業者が活用できるように、情報提供や手続の簡素化、地域における伴走支援体制を充実させることである。価格転嫁の徹底と生産性向上、投資の推進を優先し、中小企業が自立的に成長できる環境を整えることにより、真の賃金水準向上と経済活性化が実現するものと考え、反対討論とする。

議会活動の報告

（8月から10月）



8月

4日

○議会運営委員会

7日

○会派代表者会議

○議会運営委員会

12日

○議会運営委員会

○8月臨時会

21日

○閉会中の文教福祉常任委員会

○広聴広報委員会 広聴部会

25日

○議員全員協議会

26日

○二戸市議会と市民との意見交換会（浄法寺地区）

9月

2日

○会派代表者会議

○議会運営委員会

4日～24日

○9月定例会

9日

○広聴広報委員会

12日

○市政調査会臨時総会

24日

○議会運営委員会

○議員全員協議会

○会派代表者会議

○広聴広報委員会 広聴部会

10月

2日

○会派代表者会議

7日

○市政調査会役員会

○閉会中の産業建設常任委員会

○二戸市議会と市民との意見交換会（金田一地区）

8日

○広聴広報委員会 広聴部会

○カンオペア連邦議会議員協議会活動推進交流会

15日

○議員全員協議会

○議会改革特別委員会準備委員会

○閉会中の総務常任委員会

21日

○閉会中の産業建設常任委員会

○二戸市議会と市民との意見交換会（上斗米地区）

22日

○二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会総会

29日

○議会改革特別委員会準備委員会

○広聴広報委員会 広聴部会

総務常任委員会

二戸市職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例

問 育児休暇取得へのサポート体制は。

答 対象者の休暇取得などの支援制度について相談体制を取っているが、普段から職員同士のコミュニケーションを取ることで、仕事のサポート体制や育児休暇や部分休暇を取りやすい環境作りが進むと考えている。

令和7年度二戸市一般会計補正予算(第3号)

【総務部所管分】

問 消防ポンプ車の寄付についての詳細は。

答 第2分団第1部へ(株)あべはんグループからの寄付であり、以前使用していた車両が26年前のタイプであり、老朽化も進



育児休暇の取得を推進し、子育て環境整備に取り組む。

んで交換時期にきていたことと、企業側の地域に貢献したい意向が合致して今回の寄贈となった。

【市民部所管分】

問 ふるさと移住支援補助金について補正の根拠は。

答 家賃補助1件について上限2万円、敷金等の初期費用として上限6万円の補助を行うものである。令和7年度当初は10件と見込んでいたが、新たに2件の相談があり、件数が増える見込みのため増額する。

文教福祉常任委員会

令和7年度二戸市一般会計補正予算(第3号)

【健康福祉部所管分】

問 子ども子育て支援事業費の委託料の基準単価の変更について伺う。

答 国の子ども子育て支援交付金の交付要綱が改正になり、地域子育て支援センター事業委託料の基準単価が改正前の449万6000円から464万2000円に増額されたため、民間施設4施設で行っているので差額が今回の補正額である。

【教育委員会所管分】

問 学校給食費の2学期以降の提供単価について伺う。

答 1食当たりの提供単価について、小学校は295円から330円に、中学校は340円から390円になると見込んでおり、必要

な賄い材料の金額及び当初予算の差額を計上している。

問 提供単価が増となった要因は。

答 米の価格も上がっているが調味料、野菜の価格上昇も大きい。

令和7年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 子ども子育て支援事業補助金の詳細について伺う。

答 令和8年度から開始する子ども子育て支援制度において、医療被保険者から支援納付金を徴収することになり、税込納システムの改修が必要になったための補正予算である。



物価高騰の中でも安心安全の給食を提供する給食センター

産業建設常任委員会

【農林課所管分】

問 防護盾の利用が想定される場面は。

答 クマが市街地に現れ、銃猟をする際に使用するために防護盾を2個購入することとしている。使用する場合は、建物の中にクマが入りつばなしの膠着状態において、撃つ人が構えた時に、クマの襲撃から身を守ることを想定している。緊急銃猟については、国のガイドラインを反映させた市のマニュアルの中で対応する。



緊急銃猟については市のマニュアルの中で対応

議会のネット中継

YouTube で、二戸市議会の議論の様子を配信しています。二戸市の「いま!」をタイムリーに感じたい方は生(ライブ)配信で、ゆっくりと好きな時間に視聴したい方は録画配信でどうぞ。

チャンネル登録お願いします!



議会のネット中継は
↓こちら↓



審議結果

| 議案等 | 議案名等 | 審議結果 |
|-----|-----------------------------------------------------------------|----------|
| 議案 | 二戸市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 | 可決（全員賛成） |
| | 二戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | 可決（全員賛成） |
| | 二戸市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例 | 可決（全員賛成） |
| | 二戸市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例 | 可決（全員賛成） |
| | 令和7年度二戸市一般会計補正予算（第3号） | 可決（全員賛成） |
| | 令和7年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 可決（全員賛成） |
| | 令和7年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） | 可決（全員賛成） |
| | 令和7年度二戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | 可決（全員賛成） |
| | 令和7年度二戸市簡易水道事業会計補正予算（第1号） | 可決（全員賛成） |
| | 令和7年度二戸市下水道事業会計補正予算（第1号） | 可決（全員賛成） |
| | 令和7年度二戸市水道事業会計補正予算（第1号） | 可決（全員賛成） |
| 認定 | 令和6年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について | 認定（賛成多数） |
| | 令和6年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 認定（賛成多数） |
| | 令和6年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定（全員賛成） |
| | 令和6年度二戸市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定（全員賛成） |
| | 令和6年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 認定（賛成多数） |
| | 令和6年度二戸市簡易水道事業会計歳入歳出決算認定について | 認定（全員賛成） |
| | 令和6年度二戸市下水道事業会計歳入歳出決算認定について | 認定（全員賛成） |
| | 令和6年度二戸市水道事業会計歳入歳出決算認定について | 認定（全員賛成） |
| 諮問 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 適任（全員賛成） |
| | 人権擁護委員候補者の推薦について | 適任（全員賛成） |
| 報告 | 令和6年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について | 報告 |
| | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について | 報告 |
| 発議 | 教職員定数の改善及び教育予算の拡充に係る意見書 | 可決（賛成多数） |
| | 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者の負担を軽減する国の支援を求める意見書 | 可決（賛成多数） |

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です。

| 議案名 | 土佐野 淳 | 高村 人司 | 柴田 清克 | 堀野 忠教 | 菅原 規正 | 戸来 守和 | 國分 敏彦 | 駒木 昇 | 田川 晃 | 沼井 賢壮 | 小田島 行伸 | 出堀 満則 | 岩崎 敬郎 | 新畑 鉄男 | 畠中 泰子 | 田口 一男 | 内沢 真申 | 田代 博之 |
|-------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 令和6年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 議 |
| 令和6年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 議 |
| 令和6年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 議 |
| 教職員定数の改善及び教育予算の拡充に係る意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 |
| 最低賃金引き上げに伴う中小企業・小規模事業者の負担を軽減する国の支援を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 |

※ 議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対



菅原 規正 議員

ふるさと納税の取り組みを
更に積極的にすべきでは
令和8年度は3億円に
到達できるよう取り組む

問 ふるさと納税を今後
どのように展開してい
くのか。

答 市長 市では、これ
まで売場であるポー
タルサイトの充実を図るた
め、楽天ふるさなび、ふるさと
とチョイスに加え、昨年度
よりアマゾンを導入し事業
展開している。また、今年
度よりANAを加え、それ
ぞれが持つ既存の顧客基盤
やポイントプログラムを活
用することで新規利用者の
獲得を狙っている。加えて
新規利用者の獲得のために
ポータルサイト内で市の返
礼品が検索上位に来るよう
な取組や、所得層ごとに効
果的なPRを実施できるな
ど、二戸市の知名度向上に
つながるよう取り組んでい
る。さらに、一度寄附して
くれた方に再び寄附しても
らうために、お礼状の同封

や、寄附金の使われ方をホ
ームページ等でお知らせす
るなど、寄附者が社会貢献
を実感できるよう寄附後の
コミュニケーションを大切
に取り組む。

市税の滞納について

問 どのように取り組
を進めるのか。

答 市長 期限内での納
税が行われない方は、
地方税法及び国税徴収法な
ど関係法令に基づき、督促
状、催告書の送付、納税相
談を行っている。それでも

納税相談の連絡がない方等
は、財産調査等を行い、収
入や財産がある方について
は期限内納付者との公平性
を期するため差押えの実施
など段階的な徴収、滞納処
分を行っている。このほか
の徴収率向上の取組として
納税環境の充実に向けてコ
ンビニエンスストアでの納

付や地方税お支払いサイ
トを活用した納付など、納
付方法の拡大を行い、徴収担
当職員のスキルアップにも
努めている。今後も、物価
高騰など、様々な社会情勢
の変化を考慮しつつ、納税
相談によりそれぞれの状況
に合わせた丁寧な対応、適
切な滞納処分のほか、より
一層の納税環境の充実など
を図りながら、引き続き徴
収率向上に努めていく。



りんご農家の作業風景

問 現在の部活動指導員
の体制と今後につ
いて伺う。

答 教育長 部活動指導
員は、学校における
部活動の指導体制の充実を
目的として、平成29年3月
の学校教育法施行規則の一
部改正により名称及び職務
が規則に盛り込まれ、これ
まで教職員が担っていた顧
問と同等の立場で技術指導
や指導計画の作成、大会へ
の引率などの職務を担うも
のである。現在3名を任用
しており、今後においては
拠点校部活動、合同部活動
の実施を見据え、増やして
いきたいと考えているが、
顧問の職務を担える適格性
を備え、かつ日々の部活動
の指導が可能な人となるの
で、人材の確保が難しいと
考えている。



高村 人司 議員

部活動指導員を増やす考えは
あるのか
拠点校部活動、合同部活動の実施を
見据え、増やしていきたいと考えている

新たに出生された高校再編
について

問 県教委からの説明の
内容は。

答 市長 再編に当た
るの県北地区は、福
岡高校と軽米高校において
複数年にわたり入学志願者
数が1学級40人以上不足し
ている状況であり、中学校
卒業予定者の推計から、今
後も解消は難しいとの判断
により、令和8年度から1
学級減とすることが説明さ
れた。

市内高校の魅力について
伺う。

問 市内高校の魅力につ
いて伺う。

答 市長 福岡高校は創
立125年を迎える
県内屈指の伝統校である。
昨年度は、医学部をはじめ
国公立大学の合格率が県内
で上位に入るなど、県北地

域の高校教育を牽引するセ
ンタースクールであると認
識している。長年にわたり
学業や部活動で、学校が積
み重ねてきた実績が誇りと
して息づいていることが魅
力である。

答 教育長 北校高校工
業科舎では、1学年
から専門的な技術、知識を
学べる強みを生かし、実践
的な技能の習得に加え、多
様な国家資格や技能検定を
取得できる教育体制が魅力
である。



部活動でも活躍が見られた福岡高等学校



田川 晃 議員

マイナンバーカードの 公金受取口座登録について伺う 登録を促進することは 極めて重要である

問 マイナンバーカードの普及率及び公金受取口座の登録率の現状は。また、窓口支払い、管理集計に係る業務負担やコストについての現状把握とキャッシュレス導入による削減効果は。

答 市長 交付率は88・4％。公金受取口座の登録率は55・4％となっている。

公金受取口座の登録を促進し環境を整備しておくことは極めて重要であると捉えている。制度の目的やメリットを丁寧に周知、理解を深め、一人でも多くの方に登録していただけるよう取り組む。

現金管理に係る作業時間の短縮や事務上の誤りの防止につながり、皆様にとっては窓口での支払い方法の選択肢が広がり利便性の向

上が期待される。現金を持ち歩きやすに支払いが可能となることは、市民生活に一定の効果をもたらすものと考ええる。

キャッシュレス決済には利便性や効率化といった利点がある一方で、コスト面での課題や、来庁される方の多くは高齢者であることから、現時点では二丁ズがそれほど大きくないと捉えている。

参議院選挙における無効票について

問 投票所における職員
の案内の仕方や掲示
物等、安心して参加できる
場所への改善の工夫は。

答 選挙管理委員会事務
局長 岩手県選
出議員選挙」を「選挙区」
という部分を加える等職員
の案内は分かりやすく表現
を工夫し、安心して投票で



安心して参加できる投票所へ

問 中高生時代に自ら考
え、感じている疑問
や問題を二戸市に対し提起
し、主権者としての成功体
験ができるような場が必要
ではないか。

答 市長 市では中学生
を対象に楓蔭舎きぼ
う塾を開催、地元企業や郷
土の宝について知る講座
社会で活躍する方の講演な
どを行ってきた。今年度は
高校生も参加し、地域を盛
り上げるアイデアを出し合
うワークショップを開催す
るなど、様々な視点から地
域の魅力を再確認し、地域
との関わり合いについて考
える機会を創出してきた。

これらの取り組みは誰かが
やってくれるという受け身
の姿勢から私達がやるとい
う主体的な姿勢へと意識を
変える鍵となるものと考え



沼井 賢壮 議員

主権者教育の推進は 必要ではないか より効果的なアプローチを 模索し推進する

ている。地域の課題解決策
を考える過程で、地元の産
業や仕事に目を向けること
で、将来的にUターンをし
て地元で働くというキャリ
アパスが現実的な選択肢と
して意識されることが期待
される。

避難所の準備状況に ついて

問 共同通信社からの避
難所準備状況に関す
るアンケートへの回答の詳
細は。

答 市長 回答は各市区
町村が想定する地震
被害における最大避難者数
に基づいた調査となってい
る。本アンケートにおける
当市の回答について想定最
大避難者530人に基づき
回答している。

この回答についてはトイ
レの数に関するものであ



二戸市の未来のためにも、中高生の
主権者教育推進が必要である



土佐野 淳 議員

**学校の防犯対策は
防犯カメラや非常用通報装置は
必要であれば設置しなければならない**

問 中小学校の防犯対策は。防犯カメラやボ

タン一つで警察や各教室から職員室に直接連絡できる非常用通報装置も設置すべきであると考えますか。

答 教育長 危機管理マ

ニュアルを全ての学校で作成し、状況に応じて更新している。また、教職員等へのコンプライアンス意識の徹底を図っている。市内小中学校の防犯カメラ設置率は2割程度となっている。

答 市長 防犯カメラや

非常用通報装置は、教育委員会等と協議し必要であれば設置しなければならないと考えている。

問 ひきこもり状態にある方の実態把握と支

援は。

答 市長 市では調査を行っていないが、健康診断未受診者や病院未受

診者を対象として保健師等

が訪問し現状把握を行ってきた。支援については、ひきこもり家族教室の実施や保健師の訪問等を行っているが、本人と会えない等支援につながらないこともあり苦慮している。

全国学力学習状況調査

問 小学6年生と中学3

年生を対象にした2025年度全国学力学習状況調査の結果について二戸市児童生徒の正答率を伺う。昨年度の質問調査で県・

全国と比べ非常に高かった「ICT機器を授業でどの程度使ったか」の項目についても結果を伺う。

答 教育長 正答率は小

学6年生で国語が68%（全国比+1、県比+1）算数が56%（全国比+2、県比+2）理科が56%（全国比+1、県比+0）となった。



学校の防犯カメラ設置率は全国で65%程度
二戸市では20%である



田口 一男 議員

**熊など鳥獣被害と対策は
緊急銃猟制度に合わせ
体制整備を進めている**

問

猛暑の中、農作物への影響と熊など鳥獣の出没や被害の状況と対策は。市街地での緊急銃猟の使用など新たな制度と猟友会との関連などの取り組み状況について伺う。

答

市長 サクランボについては小玉傾向ではあるが、最適な収穫時期により、前年実績を上回っている。同様に葉たばこ、

リンドウ等も生産者の努力により堅調である。酪農、ブローラーでも、餌の成分調整の他、暑熱対策により、被害が増加していないとの

こと。JAが中心となり指導会や巡回を実施している。鳥獣被害については、熊の出没状況、被害状況とも昨年より大きく上回っている。地域別では浄法寺が最も多い。狩猟会員は昨年

より増えている。平均年齢は63・3歳で僅かに若返っている。今月施行の緊急銃猟制度の施行に合わせ体制整備を進めている。国の交付金の活用により、地域ぐるみの電気柵設置、ICT活用で個体数の管理など農家、地域、猟友会と連携を図りながら取り組んでいく。

答

教育長 学校現場での熊などへの対応については、各学校で作成している危機管理マニュアルに盛り込んでいる。

高齢化社会に向けた支援について

問 高齢化社会に向けた支援は。高齢者も健康で社会に貢献、生きがい

のもてる環境を作ることが大事だと思うが、施策は高齢者の安全、安心のため



熊に4度も襲われたハウス



國分 敏彦 議員

人口減は国策との発言の真意は 国が主導して方向性を示すべき

問

総務常任委員会が提出した「人口減少に関する政策提言書」をどのように捉えたのか。

答

市長 長い調査研究の上、持続可能な二戸市の実現のため、経済政策と社会政策の両面から若い世代を支える取り組みとして、5つの提言をいただいた。

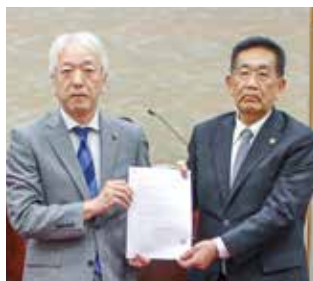
答

市長 人口減少対策は、大都市圏域を除き全国の市区町村共通の最も大きな課題である。各自自治体では、独自に様々な施策を行いながら減少を緩やかにしたいと取り組んでいる。代表的なものとして、給食費や保育料の無償化などの子育て支援、移住者への支援などが挙げられるが、それらも市区町村間の競争になってきており、また財政的に余裕がある市区町村の支援策が手厚い傾向にある。一方、地方の自治体で人口減少対策の優良事例として取り上げられている取り組みもあるが、人口減少に歯止めはかけられないのが実情である。

問

政策提言書を手渡した際に、人口減は国策として発言した市長の真意は。

そのような中、例えば給食費の無償化などは、財政



人口減少対策に関する政策提言書を市長に提出。



畠中 泰子 議員

市は保育の公的責任と 役割を果たすべきでは 子育て支援サービス全体の最適化と 充実を図っていく必要がある

問

市には保育の公的責任がある。保護者の意向を聞くこともなく市立堀野保育所・金田一保育所の閉所方針は当事者の権利を無視した地域切り捨てと考える。現在、金田一保育所に35人、堀野保育所に19人が入所していて保育ニーズがある。子育て基盤を行政自ら崩しているのではないか。

答

市長 公立保育所は行政の直営により多様な保育ニーズの受け皿の役割や保育需要の減少を見越した定員調整機能も担う。本市では障がい児保育や医療的ケア児の受け入れも民間認定こども園で実施している現状や保育需要の減少等も踏まえた検討結果である。自動車による送迎で堀野に行くのと金田一に行くのと始と変わらない。

訪問介護事業

問

昨年4月からの訪問介護基本報酬引下げによる市内の訪問介護事業所の深刻な実態と声に対する対策は。

答

市長 市内6か所の全訪問介護事業所で収入が減少との回答だった。現時点では市独自の支援や保険者である二戸地区広域行政事務組合での対応の検討の提起は考えていないが、各事業所の状況を注視しつつ、事務組合、構成市町村と情報共有を図っていく。

気候変動対策

問

今年、管内で消防が緊急搬送した熱中症確定者60人の内、60%が75歳以上。高齢者・低所得者へのエアコン設置支援や避難所となる学校体育館等へのエアコン設置をすべきではないか。高温による学習

答

市長 高齢者や低所得者へのエアコン設置は財政的課題もあり、国の補助など有利な財源を注視していく。学校体育館等の空調は時期や財源確保など所管部署の方針を踏まえて調整を行っていく。

答

教育長 「暑さ指数」を学校での活動を行う際の判断基準とし、熱中症予防運動指針に沿って授業時間や活動場所の変更など工夫して対応している。



市立堀野保育所（左）と市立金田一保育所（右）

紙面の中から答えを見つけてね！

議会だよりクイズ

下の○に当てはまる言葉を入れてください

10月5日に
二戸市合併○○周年記念式典
が開催されました

★ 前回の答え…「意見」

□ 応募方法

クイズの答えと住所、氏名、年齢、議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想やご意見を必ずご記入のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。

正解者の中から抽選で5人に「図書カード」1,000円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見、感想等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。
(氏名非公開)

□ あて先

〒028-6192 二戸市福岡字川又 47
二戸市議会事務局 議会だより 係

ファックス 0195-23-1633
メー ル gikai@city.ninohe.iwate.jp

□ 締 切

令和7年12月24日(水)
※ 当日消印有効



ご意見



みなさまの
声を聞かせて！

クイズにご応募いただいた
皆さまからのご意見を
ご紹介しながら、
二戸市の今を考えます。



二戸についての意見交換会ですが、普段なかなか暮らしの悩みを皆と共有する場がないので、こういった場があるのはとても良いことだと思います。これからも続けて欲しいです。
(30代・堀野の方)

令和の米騒動から、二戸でも農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増加はないのか、また、今夏の高温小雨による作物への影響はないのかなど、これからの農業に対する不安が尽きません。所得保障が可能ならぜひ実現して、魅力ある職業にしていってほしいと思います。
(60代・堀野の方)

長年の功績を称え表彰された岩崎様、田口様、ありがとうございます。そして、おめでとうございます。
(70代・野々上の方)

● 編集後記 ●

議員任期の折り返しとなる2年が経過して議会内組織も再編成され、広報部も新たな部員構成で再出発しました。

過去の「いのへ市議会だより」は平成20年3月定例会のNo.7から二戸市ホームページに掲載されていますが、これまでの編集委員会や広報部の先輩方が読みやすく、伝わりやすいようにするためにどんな工夫をして来たかを縦覧する事が出来ます。

その推進力を緩ませることなく、更なる改良の余地を常に考えながらの部会運営に努めたいと思っています。
(堀野 忠教 記)



* 広聴広報委員会

委員長 内 沢 真 申

* 広報部会

部会長 堀 野 忠 教

副部会長 田 川 晃

委 員 柴 田 清 克

沼 井 賢 壮



①浄法寺小学校5・6年生による市民憲章の唱和 ②デービッド・アトキンソン氏の講演も行われた ③二戸市のゆるキャラがお出迎え

声のひろば

KOE NO HIROBA

金田一地区民生委員
児童委員協議会
会長 戸来 陽子 さん

私たち民生委員児童委員は、日頃から地域住民の生活上の様々な相談等に応じながら明るく、健全な地域社会づくりに努めております。毎月の定例会を通して、皆で情報共有をしながら横の連携を深めております。

今回の定例会では、「二戸市議会について」と題して、議員さんを講師にお迎えして研修会を行いました。市長や議員の皆さんの仕事の内容や、議会の仕組みもよく分かりましたし、政治に対する意識も少し深まったように感じています。

参加者からも活発な意見や質問もあり、とても有意義な研修でした。機会がありましたら意見交換会にも参加してみたいと思います。

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。みなさまと一緒に、このまちの未来を考えていきたいと思います。



10/9に開催された金田一地区民生委員児童委員協議会10月定例会での研修会の様子

二戸市議会のホームページ
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/info/2148>
gikai@city.ninohe.iwate.jp

右のQRコードから
ホームページにアクセス
できます→

